学校番号	302

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新倫理　新訂版」　（清水書院）						
副教材等	使用せず						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・広い視野に立って、人間としての在り方生き方についての自覚を育てる。
・人間や自分の在り方生き方について主体的に考えるための基礎的な知識と考え方を身につける。
・先哲の思想を参考にして人間や自分の在り方生き方を考える。
・現代社会の思想的課題について把握し、判断する。

2　学習の到達目標

・人間尊重の精神と生命に対する畏怖の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせる。
・人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確保を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	先哲の思想とその現代的意義に関心を持ち、意欲的に追究するとともに、自分の在り方生き方に関わる問題として積極的に考えようとしている。	現代社会に生きる人間として考えるべき思想的課題を把握しつつ、主体的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	倫理に関する資料や関連する文献を読み取り、要旨を正確に把握している。	先哲の思想に関する重要な語句や概念についての知識を身につけ、その意味を理解している。
評価方法	授業プリント	定期考査 授業プリント 復習プリント （レポート）	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期第一中間考査まで	青年期の課題と自己形成	・青年期と発達課題	○			○	a:青年期の特徴について自己の経験も踏まえながら、関心を深めようとしている。 d:青年期や自我に関する用語について正しく理解し、用いることができる。	定期考査 授業プリント ワークシート
前期第二中間考査まで	人生における哲学 人生における宗教	・古代ギリシャ思想 ・キリスト教 ・イスラーム	○ ○	○ ○ 		 ○ ○	a: 古代ギリシャ思想(自然哲学、ソフィストの思想、三大哲学者の思想、ヘレニズム時代の思想など)、キリスト教(ユダヤ教の思想、イエスの思想、キリスト教の思想など)、イスラーム(ムハンマドの思想、イスラームの思想など)の考え方とその現代的意義に関心を持ち、意欲的に追究している。 b: 古代ギリシャ思想、キリスト教、イスラームが提起した課題と世界観の相違点・類似点を把握しつつ、相互の関係を判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 古代ギリシャ思想、キリスト教、イスラームに関係する資料を読み取り、要旨を正確に把握している。 d: 古代ギリシャ思想、キリスト教、イスラームの重要な語句や概念に関する知識を身につけ、その意味を理解している。	定期考査 授業プリント

前期期末考査まで	人生における宗教 人生の知恵	・仏教 ・人生の知恵	○ ○		○	○	a：仏教（バラモン教の思想、ブッダの思想、仏教の思想など）、中国思想（儒家の思想、道家の思想、その他の思想家の思想など）の考え方とその現代的意義に関心を持ち、意欲的に追究している。 b：仏教、中国思想が提起した課題と人間観の相違点・類似点を把握しつつ、後世への影響を判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c：仏教、中国思想に関係する資料を読み取り、要旨を正確に把握している。 d：仏教、中国思想の重要な語句や概念に関する知識を身につけ、その意味を理解している。	定期考査 授業プリント
後期中間考査まで	現代に生きる人間の倫理	・人間の尊厳 ・自然や科学技術と人間とのかかわり ・民主社会における人間の在り方 ・自己実現と幸福 ・個人と社会とのかかわり	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a：近代ヨーロッパ思想（ルネサンスの思想、宗教改革の思想、モラリストの思想、経験論、合理論、社会契約論、観念論、功利主義、プラグマティズムなど）、現代思想（社会主義、実存主義、その他の現代思想など）の考え方とその現代的意義に関心を持ち、意欲的に追究している。 b：近代ヨーロッパ思想、現代思想が提起した課題を把握しつつ、相互の関係や後世への影響を判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c：近代ヨーロッパ思想、現代思想に関係する資料を読み取り、要旨を正確に把握する。 d：近代ヨーロッパ思想、現代思想の重要な語句や概念を身につけ、その意味を理解している。	定期考査 授業プリント ワークシート

後期末まで	日本の風土と外来思想の受容 現代の日本と日本人としての自覚	・日本の風土と伝統 ・仏教の伝来と隆盛 ・儒教の日本化 ・日本文化と国学 ・近世庶民の思想 ・西洋近代思想の受容 ・日本の現代思想	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a: 日本の思想（古代の思想、日本の仏教思想、日本の儒教思想、日本独自の思想、日本近代の思想、その他の思想など）の考え方とその現代的意義に関心を持ち、意欲的に追究している。 b: 日本人の考え方とその歴史的展開を把握しつつ、日本の思想の特色と西洋思想や東洋思想との相違点・類似点を判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日本の思想に関係する資料や関連する文献を読み取り、要旨を正確に把握する。 d: 日本の思想を理解する上で重要な語句や概念に関する知識を身につけ、その意味を理解している。	定期考査 授業プリント ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。